説明資料

公益財団法人 千葉市国際交流協会

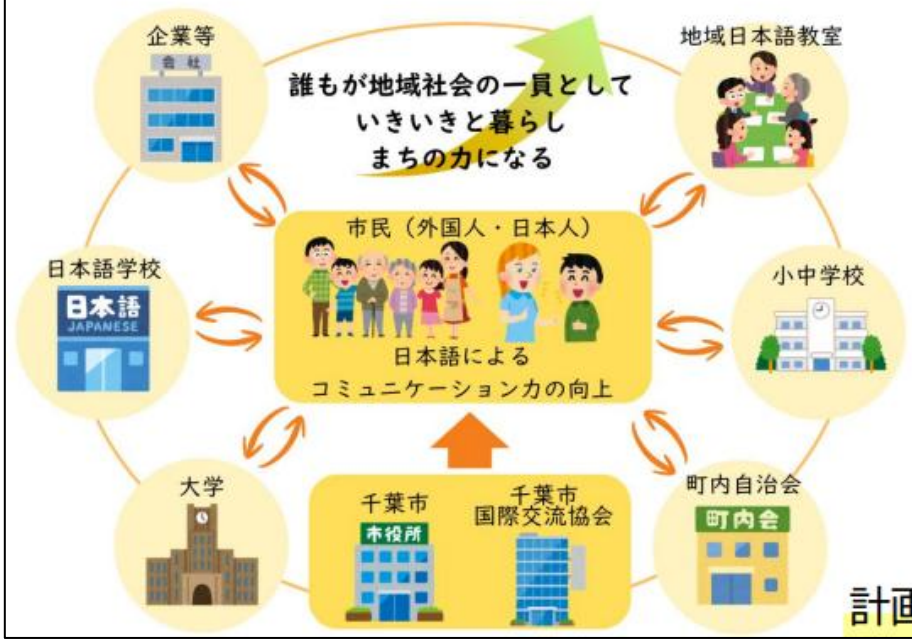
1. 千葉市国際交流協会が実施する
日本語学習プログラムについて

第2次千葉市地域日本語教育推進計画

1 策定の趣旨

外国人が地域の担い手として参画し、多様な国籍や文化を持つ市民が相互に理解を深め、尊重し合いながら暮らしていくためには、外国人が日本語によるコミュニケーション能力を身につけ、地域社会に馴染むための環境整備が重要です。

多様な背景を持つ人が互いに尊重し合い、それぞれの能力を最大限に発揮するための日本語による円滑なコミュニケーションの実現を目的として、「千葉市地域日本語教育推進計画」を改定します。



目指すべき姿

多様な背景を持つ人々が互いの理解を深めながら、日本語による意思疎通を円滑にすることで、誰もが地域社会の一員としていきいきと暮らし、まちの力になる

千葉市外国人との共生社会実現に向けたアクションプランとの関係

アクションプランの方向性Ⅰの分野目標として「日本語習得とコミュニケーションの促進」を挙げています。

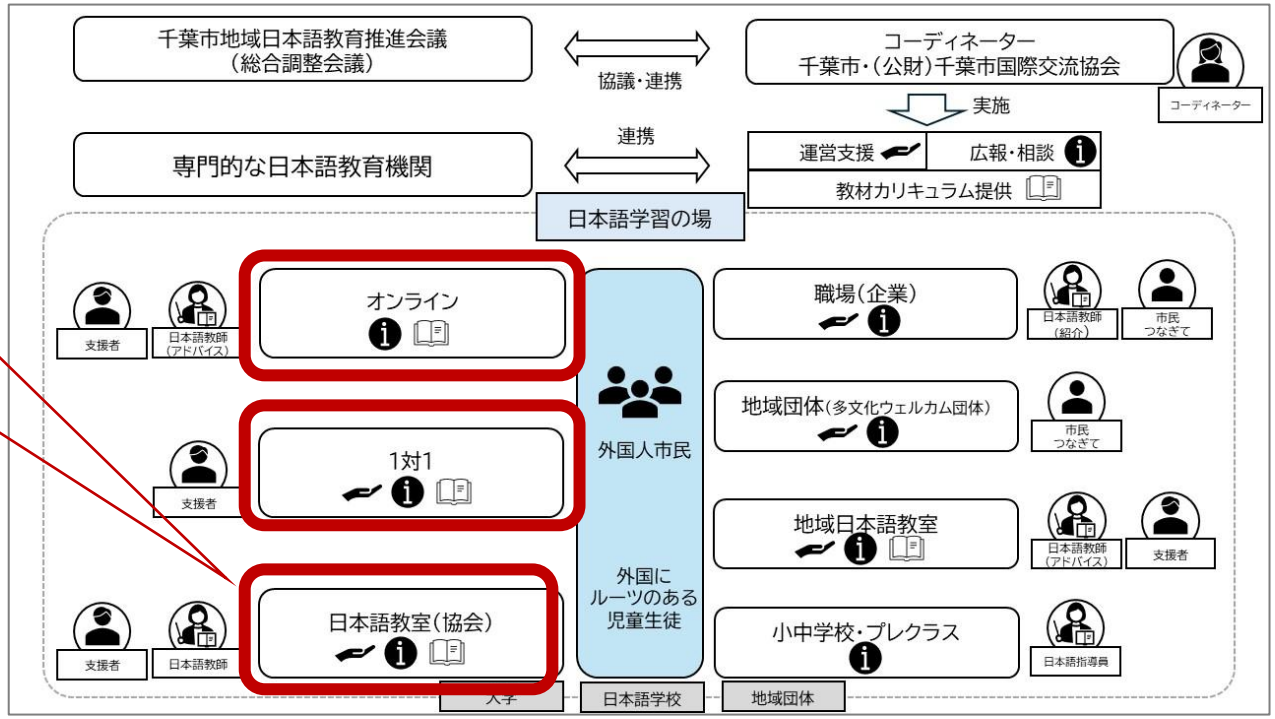
計画期間：5年間　令和8（2026）年度～令和12（2030）年度

相互理解

円滑なコミュニケーション

モデル教室を
国際交流協会で実施

日本語教師が担う
・初級1，2
・グループ学習クラス



モデル教室のコンセプト：

- 人とつながるための日本語能力、運用能力を育む
- 基礎日本語教育：基礎となる力を育み、その後の日本語学習継続の土台とする
- 協働学習、自律的学習を大切にする

令和８年度　千葉市国際交流協会　日本語クラス　年間予定（2026年4月～2026年9月）

クラス	レベル	内容	期間	曜日と時間	回数	実施方法	参加費
①初級クラス1	ひらがな、カタカナ、数字や簡単な挨拶がわかる人 日本語教育の参照枠：A１	日本語の基礎的な文の作り方や語彙・表現を習得しながら、身近なテーマの会話や文章の意味がわかり、自分のことが表現できるように学びます。 〇教材：「わたしを伝える日本語１」	5/11-9/17	月曜日と木曜日 10:00-12:00	週２回 2時間 × 30回	対面	12,000円 ※教科書など教材費を含む ※分割支払い可能 （4,000円×3回）
②初級クラス２	初級クラス1が終わった人 日本語教育の参照枠：A１～A２	初級クラス1に引き続き、身近なテーマの会話や文章の意味がわかり、自分のことが言えるように学びます。初級後半の文法も学びます。日本語を使って実践的な活動もします。 〇 教材：「わたしを伝える日本語２」	5/12-7/31	火曜日と金曜日 14:00-16:00	週２回 2時間 × 20回	対面	8,000円 ※教科書など教材費を含む ※分割支払い可能 （4,000円×2回）
③グループ学習クラス	日本語が全くわからない人～	教師や日本語交流員がサポートしながら自習や協働学[illegible]をするクラスです。入門の人、初級の人、カタカナや漢字の読み[illegible]する人、会話の練習をする人、参加者に応じたグループに分[illegible]自学習をします	6/3-9/16	水曜日 10:00-12:00	週１回		4,800円
							[illegible]0円
							[illegible]円
④オンデマンド日本語学習プログラム							[illegible]円（スクーリング代）
⑤オンライン日本[illegible]交流クラス							
⑥１対１日本語[illegible]動							[illegible]月　500円 [illegible]手数料）

初級クラス1，2

身近な話題で自己表現するための日本語能力を養う。

（「日本語教育の参照枠　A1，A2レベル）

グループ学習クラス

入門・初級・読み書き・会話の島に分かれて学習。
自学および協働学習を日本語教師が支援。
日本語交流員が適宜サポート。

（「日本語教育の参照枠 A1，A2レベル）

2026/3/31

クラス							参加費
①初級クラス1							など教材費を含む 払い可能 円×3回）
②初級クラス２	日本語教育の参照枠：A１～A２	○ 教材：「わたしを伝える日本語２」			20回		等など教材費を含む 割支払い可能 （4,000円×2回）
③グループ学習クラス	日本語が全くわからない人～中級 日本語教育の参照枠：Ａ１～Ｂ１	教師や日本語交流員がサポートしながら自習や協働学習するクラスです。入門の人、初級の人、カタカナや漢字の読み書きを学習する人、会話の練習をする人、参加者に応じたグループに分かれて自律学習をします。 長期のクラスに参加できない人も参加できます。 ・入門グループ ・初級グループ ・読み書きグループ（ひらがな、カタカナ、漢字） ・会話グループ	6/3-9/16	水曜日 10:00-12:00	週１回 2時間 × 12回	対面	4,800円
			6/6-9/19	土曜日 10:00-12:00			4,800円
			6/2-9/15	火曜日 17:50-19:50			4,800円
④オンデマンド日本語学習プログラム	初級～ひらがな、カタカナ、数字や簡単な挨拶が分かる人向け 日本語教育の参照枠：A1～A2	eラーニングとスクーリングで日本語学習をします。	６カ月			オンライン（一部対面）	2,000円（スクーリング代）
⑤オンライン日本語交流クラス	初級終了～中級 日本語教育の参照枠：Ａ１～Ｂ１	オンラインで日本語を使って話すクラスです。 日本語コミュニケーションの力をつけます。	4/9-4/30	木曜日 14:00-15:00	1時間 × 4回	オンライン	800円
⑥１対１日本語活動		日本語交流員と１対１で、日本語で会話をして、日常会話や、日本での生活に必要な表現、情報などを学びます。	週１回（１～２時間/回）を３か月間 ×最大４期			対面 オンライン	1期3か月　500円 （事務手数料）

令和８年度　千葉市国際交流協会　日本語クラス　年間予定（2026年4月～2026年9月）

オンライン日本語交流クラス

特定のテーマでオンラインで話す取組み。
日本語交流員も参加する。
会話力をつけたい人、交流したい人が対象。

クラス	レベル	内容	期間	曜日と時間	回数	実施方法	参加費
①初級クラス1							円 など教材費を含む 払い可能 円×3回）
②初級クラス２							など教材費を含む 払い可能 円×2回）
③グループ学習クラス		読み書きグループ（ひらがな、カタカナ、漢字） ・会話グループ	6/2-9/15	17:50-19:50			4,800円
④オンデマンド日本語学習プログラム	初級～ひらがな、カタカナ、数字や簡単な挨拶が分かる人向け 日本語教育の参照枠：A1～A2	eラーニングとスクーリングで日本語学習をします。	６カ月			オンライン（一部対面）	2,000円（スクーリング代）
⑤オンライン日本語交流クラス	初級終了～中級	オンラインで日本語を使って話すクラスです。 日本語コミュニケーションの力をつけます。	4/9-4/30	木曜日 14:00-15:00	1時間 × 4回	オンライン	800円
⑥１対１日本語活動	日本語教育の参照枠：Ａ１～Ｂ１	日本語交流員と１対１で、日本語で会話をして、日常会話や、日本での生活に必要な表現、情報などを学びます。	週１回（１～２時間/回）を３か月間 ×最大４期			対面 オンライン	1期3か月　500円 （事務手数料）

令和８年度　千葉市国際交流協会　日本語クラス　年間予定（2026年4月～2026年9月）

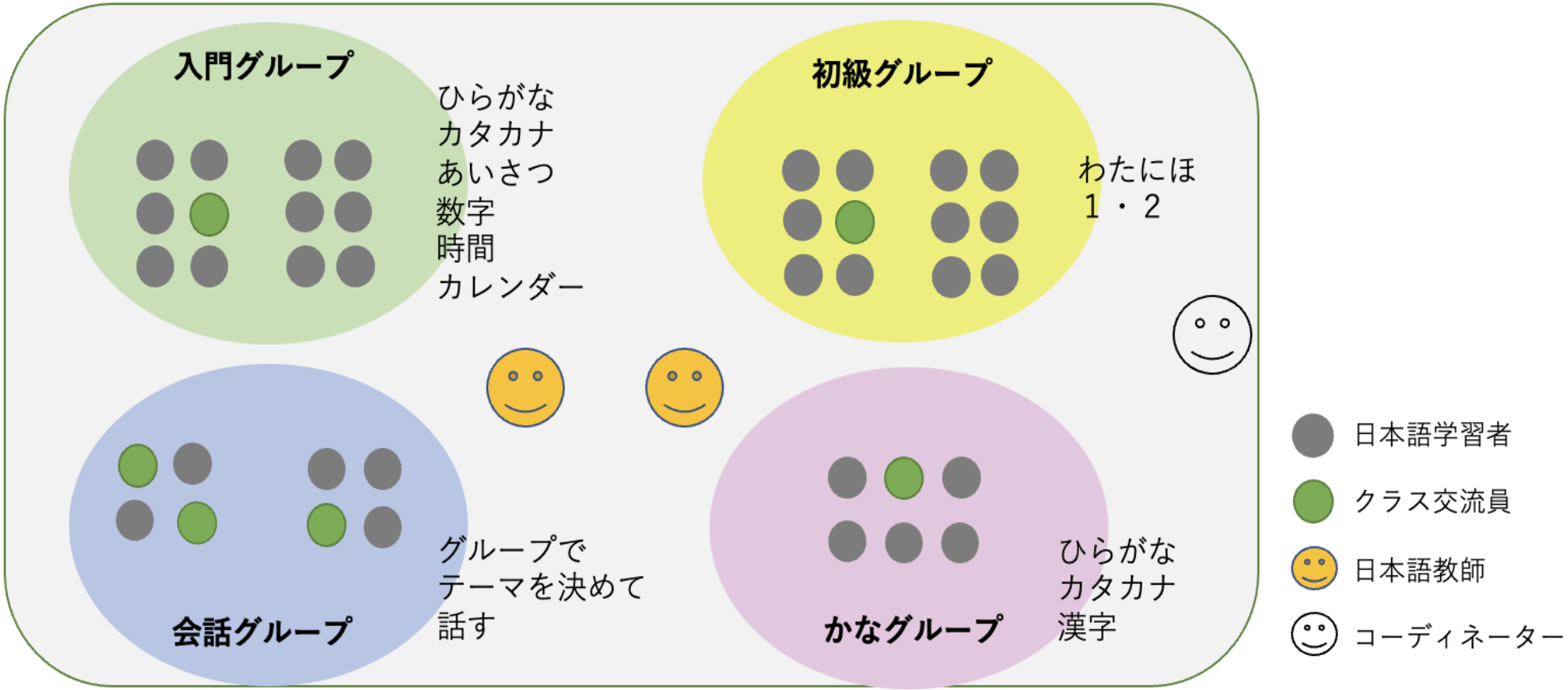
クラス	レベル	内容	期間	曜日と時間	回数	実施方法	参加費
①初級クラス1	ひらがな、カタカナ、数字や簡単な挨拶がわかる人	日本語の基礎的な文の作り方や語彙・表現を習得しながら、身近なテーマの会話や文章の意味がわかり、自分のことが表現できるように学び	[illegible]	月曜日と木曜日	週２回 2時間	[illegible]	12,000円 ※教科書など教材費を含む [illegible]支払い可能 [illegible]0円×3回）
②初級クラス２							など教材費を含む 払い可能)円×2回）
③グループ学習クラス							
④オンデマンド日本語学習プログラム	初級：ひらがな、カタカナ、数字や簡単な挨拶が分かる人向け 日本語教育の参照枠：A1～A2	eラーニングとスクーリングで日本語学習をします。	６カ月			オンライン（一部対面）	2,000円（スクーリング代）
⑤オンライン日本語交流クラス	初級終了～中級	オンラインで日本語を使って話すクラスです。 日本語コミュニケーションの力をつけます。	4/9-4/30	木曜日 14:00-15:00	1時間 × 4回	オンライン	800円
⑥１対１日本語活動	日本語教育の参照枠：Ａ１～Ｂ１	日本語交流員と１対１で、日本語で会話をして、日常会話や、日本での生活に必要な表現、情報などを学びます。	週１回（１～２時間/回）を３か月間 ×最大４期			対面 オンライン	1期3か月　500円 （事務手数料）

１対１日本語活動

日本語学習希望者と日本語交流員をマッチング。
3か月で1ターム　ペアが曜日と時間を決めて活動。

（日本語教育の参照枠　A1，A2レベル）

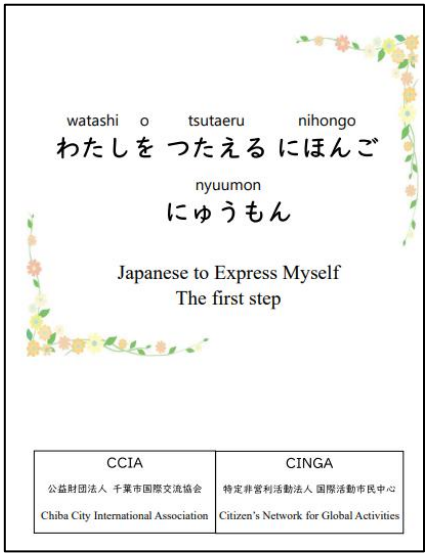
➢ グループ学習クラス　各グループの概要



日本語教師2名、交流員数名、コーディネーター1名の体制。
教師は参加者のニーズやレベルに合わせてグループ構成と学習目標提案、アドバイジングを担当。交流員は学習内容に合わせて学習活動を促進、支援し、
コーディネーターは教師・交流員との密な連絡調整の上、クラス運営をサポートする。

【入門グループ】

発音、ひらがな、カタカナ、挨拶、時間、注文、簡単なやりとりなど、最も基礎的な段階の日本語を学ぶ。



教材：

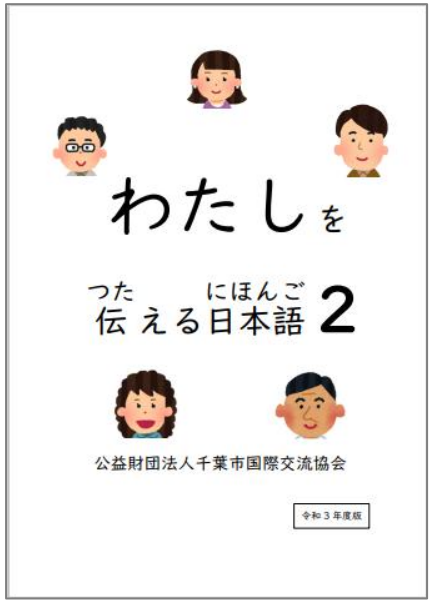
（入門　本冊、ことば、ひらがな・カタカナ）

https://ccia-chiba.or.jp/wards/learning_materials/teaching_materials

【読み書きグループ】

日常的な会話はできるものの読み書き学習の経験がない人、漢字を学びたい人などが対象。学習希望内容に合わせて教師がメニューを提案し、自学を進める。

【初級グループ】



文化庁委託事業で作成した自己表現活動中心の教材「わたしを伝える日本語」を使用。身近なテーマで自分のことが話せるように、日本語の基礎を自律的に学ぶ。参加者は、教材の登場人物の話を参考にして、各ユニットのテーマにおいて自分の話を書いたり話したりする。

https://ccia-chiba.or.jp/wards/learning_materials/teaching_materials

【初級グループ】

≫学習方法

ひとりで

①テーマを知る
②動画視聴（1人物）
③新しい言葉や、わからない言葉を調べる
④リピート・シャドーイング

クラスメイトや交流員と

⑤再話（絵を見て、登場人物の話を言ってみる）
⑥登場人物のQAペア練習
　テキストを見て　⇒　テキストを見ないで
⑦QAを作る（テキストに書く）
⑧自分が作ったQAでペア練習
⑨テーマについてお互いの話をする
⑩自分のことを作文する（わたしの話）
⑪作文の発表

【会話グループ】

会話１：　Ａ１～Ａ２レベルの人、会話に慣れていない人
会話２：　Ａ２以上のレベルの人、日本語知識はあるが会話に時間がかかる人

・交流員を含めた3～4人程度のグループで活動する。
・グループの内、学習者1人がファシリテーターをする。
・話す前に整理したり調べたりする時間を取る。
・学習者は「記録ノート」に新しく知ったことを適宜メモする。

＜テーマ＞
①参加者が決めた内容

②生活上、知っておいてほしいこと
（保険、病院、学校制度など）

③ 対話教材を利用したケーススタディやディスカッション

2. オンデマンド学習プログラム　説明

オンデマンド日本語学習プログラムの紹介 – 公益財団法人 千葉市国際交流協会